

岐阜市議会議員 各位

市民参画部長

みんなの森 ぎふメディアコスモスについて (ご報告)

みんなの森 ぎふメディアコスモスに係る 2 階図書館天井からの落水について、本日 (1 月 31 日)、ぎふメディアコスモス建物等の課題に関する検討会議を開催し、設計者、施工者より落水の原因や今後の対応等について説明を受けましたので、下記のとおり報告します。

なお、このことにつきまして、市政記者クラブへ情報提供いたしますのでよろしくお願ひします。

記

1 出席者 市：浅井副市長、今岡副市長、市民参画部長、まちづくり推進部長
設計者：(株)伊東豊雄建築設計事務所 古林豊彦 (取締役)、庵原義隆 (設計担当者)
施工者：戸田建設株式会社 伊藤智 (現場代理人)、岩本聡 (名古屋支店建築工事部技術課主任)

2 2 階天井からの落水等の解決に向けて (本市から業者に対して)

- ・天井からの落水は、昨年 4 月以降計 8 回、直近では 1 月 13 日に発生しており、依然として解消が図られない状況である。
発生から 2 年近く続くこの事態は、極めて遺憾であり、改めて、岐阜市として、設計者、施工者に対し、一刻も早く落水を止め、解決を図ることを強く求める。
- ・屋根内部下地鋼材の錆について、平成 27 年 2 月の建物引渡しから 2 年で当該状況であることについては、鋼材の耐久性や建物の安全性についての検証及び錆への対応を求める。

3 設計者・施工者からの説明

①設計者、施工者における本件対応の体制及び原因・対応に関する説明

回答：設計者と施工者が協力して課題の解決にあたる中、設計者は、設計時の協力会社である「設備設計担当者」「環境設計担当者」と連携し、また施工者は、本社技術支援部門、さらに補修を施工時の下請け業者等に作業させるなど、課題の解決にあっている。
落水の主たる原因は結露と考えており、対応については「夏季及び中間期」と「冬季」に分けてそれぞれ適切な換気を行う。

②屋根内部下地鋼材の錆の耐久性、安全性についての見解と対応の説明

回答：当該箇所の錆の進行度や範囲が大きくない状況、屋根内の換気を継続していること、さらに鋼材が電気亜鉛メッキ鋼板であることから、現状において構造上の問題はない。
結露防止対策を行うことで、錆の進行は止まると考え、今後の落水していない部分も含め、数か所選定して追加で目視調査を行い、錆の進捗を観察していく。

4 今後の対応 (本市から業者に対して)

- ・原因の一層の究明、及びそれに対する効果的な対策の検討を重ねて強く求める。
- ・換気装置の制御の条件を詳しく定め、早急に報告するよう求める。
- ・落水に係る瑕疵担保責任につき、3 者 (岐阜市、設計者、施工者) において、期間を延長 (10 年) する合意書に関する内容及び取交しの協議を継続する。
- ・屋根内部全体の下地鋼材の錆について、耐久性・安全性及び対応について、あらためて報告を求める。

問い合わせ先

市民参画部ぎふメディアコスモス事業課
大塚、石原 058-214-4584